

令和5年度 駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

令和6年3月6日

1 こども園教育目標 …

明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 …

笑顔あふれる安心の基地

※評価点 4(はいそう思う、十分できた) 3(大体あてはまる) 2(あまり当てはまらない) 1(いいえそう思わない、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R3	R4	R5	
1教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.3	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・園に入った瞬間によくなされているのを感じた。 ・先生方の大変な努力の様子が伝わってくる。「小1の壁」と言われるが、トイレ、給食等の環境が一変するので、更に小学校への接続をこどもが体感できる機会があるとよい。 ・疎かにしがちな分野だが全体的に素晴らしい。⑥は幼保連携に向け大切にしてほしい。 ・重点目標をはじめ小学校との繋がりや研修等、時代に合ったものを取り入れる柔軟な姿勢が園発展へと繋がる。 ・今後も幼小中の研修を継続したい。小学校教員は1年生を必要以上に幼く見ている傾向がある。こども園の年長の姿を見せていただけたと有難い。 ・小学校生活に向け色々な事を自分の力でできるよう練習したり、学校生活がイメージできるよう声掛けをしたりとこどもが自信をもって進学できる。とても楽しみにしていて親としては嬉しい。 ・3年間安心して任せることが出来た。先生方は本当によくやってくさる。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.3	3.1	3.1	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.3	3.3	3.2	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.2	3.4	3.4	
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.3	3.4	3.4	
	⑥幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿や小学校との接続(アプローチ)を意識している	3.2	3.1	3	
2保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くないか確かめている	3.7	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのこどもを大切にしている姿がよくわかる。⑥は増加しているの力を入れる必要を感じる。 ・⑦のコメントからも先生方の忙しい日常が伝わってくる。話し合いは大切なことなので、短時間勤務のパート等も増やし、もう少し余裕ができればと願う。休憩時間も完全なノンコンタクトタイムになるよう態勢の工夫が求められる。・「個に応じた支援」は大変ですが頑張ってください。 ・個に応じた支援について、来年度よりケース会議を行うと伺いました。とても大切なことだと思う。 ・体調不良時の連絡も迅速で、何度も助けていただきました。 ・今年は去年よりイベントが増え(特に食育関係)、こどもたちは楽しみながら色々なことを学ぶことができた。今までは苦手であり食べなかった食材も、命を頂いているという意識ができ、ご飯を残すことが少なくなったと思う。 ・こどもの体調不良にいち早く気づいてくれるので感心している。感染症流行時に一日に2、3回体温を測ることがあったとこどもから聞き、少し過剰かなとも感じた。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.5	3.5	3.5	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.2	3.2	3.2	
	④行事や活動を通して、こども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.3	3.3	3.4	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくよう工夫や努力をしている	3.1	3.2	3.1	
	⑥支援に必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	3.0	3.3	3.0	
	⑦不適切な保育とならないように、定期的に話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている			3.2	
3教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.2	3.1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちと積極的にコミュニケーションをとるよう心がけている。 ・この評価表を見て点検項目の多さに驚いた。企業のISOと同じようだ。コミュニケーションをよくして運営ください。明るい職場と思った。 ・「聞く側が否定的な気持ちではなく、受け止めてくれる気持ちを持って話しやすい。」という意見は、確かにその通りである。 ・①と⑥は、7の研修と結びつくと思う。他は問題なしです。 ・マスク問題は悩ましい。個人判断ではあるが、マスクを保育者が装着することによるこどもの発達への影響を研究している方もいるので、客観的データと合わせて検討されることが望ましい。・園便り等で教職員の人柄を伝えるコーナーがあってもよい。
	②こどもや保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	3.6	3.6	3.5	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.7	3.7	3.6	
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.3	3.2	3.2	

53.2 53.2 55.6

(No. 2)

評価	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R3	R4	R5	
3教職員としての能力や良識・適正	⑤こどものさきやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	3.8	3.8	・自分だけでなく職員間で共有したり、子どもにも伝えることにより、みんなで個々の成長を認めて褒めることができている。 ・担任が気付いていない成長を講師の先生が伝えてくださり、とてもありがたかった。
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.3	3.1	3.1	・社会現象や自然の移り変わりを分かりやすく伝えたり掲示したりできた。 ・日々のニュースはチェックしているが、もう少し日々アンテナを張ってきたい。
4保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.5	3.5	3.5	・お迎えに来た保護者にできる限りその日の様子を伝え、安心感を与えられるようにしている。 ・こどもの様子は直接保護者に丁寧に伝えるよう心がけた。 ・どの先生も連絡帳の書き方に気を付けていると感じる。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.3	3.4	3.3	・職員という意識をもって丁寧な会話に気を付けている。 ・今年度から手紙が配信になったことで、外国籍の保護者への連絡が難しいと感じた。
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	3.8	3.9	・情報管理には気を付けている。 ・引き続き意識し努力していきたい。
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.6	3.7	3.6	・保護者からの意見はすぐに上司に報告をし、解決できることは迅速に行ってきた。 ・上司に相談し、自分だけで解決しないようにした。 ・一人で決めることのないよう、今後も引き続き努力していきたい。
5地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	2.8	2.8	・一度見学の方の対応をさせていただいたが、経験することで自分の勉強にもなるなど感じた。 ・まだまだ説明するのは難しいので、引き続き理解に努めていきたい。
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.8	2.6	2.7	・高齢者サロンに出かけることができ、ふれあい遊びを楽しむことができた。 ・地域の施設についてもう少し理解を深めたい。 ・年長児の親子ウォークラリーなど、地域に出ていく活動ができた。
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.7	2.6	2.5	・自ら知ろうとする努力を引き続きしていきたい。 ・もっと地域開放等について宣伝をするとともに、園全体で盛り上げるようにすれば、意識も高まると思う。
6安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.4	3.6	3.5	・些細なことでも伝え合いながら、子どもたちの安全を第一に考えることができたと思う。 ・一覧を作るなど、今後の対策に繋がられた。 ・エルガナで共有することで、意識して気を付けることができた。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.4	3.3	3.4	・訓練をすることで、子どもたちが防災頭巾やヘルメットを嫌がらなくなったので、これからも訓練は大切に行っていくたい。 ・今年は月に一度の訓練が丁寧に行われている。実際に通報訓練もできて大切な経験になった。
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、子どもや家庭への啓発に努めている	3.5	3.4	3.5	・園やクラスで何かあったときは、保護者へ伝えるようにしている。 ・今までしていた感染症対策を継続するべきか、違った対策方法を取り入れるべきか、今後もその都度最善策を考えていきたい。
	④閉じ込め・置き去り・取り残しなどないように人数確認を確実にしている。		3.8	3.8	・担任、講師全員ですべてできていると思います。 ・人数確認や点呼はこまめに行うようにしている。 ・毎日の点呼を先生とダブルチェックし、欠席状況を正しく把握できた。
7研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.1	3.0	2.9	・部会で資料を載せたり、外部よりわらべうたや絵本の読み聞かせを行うことで、とても勉強になっている。 ・様々な研究を受けさせてもらい、とても勉強になっている。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.2	3.1	3.2	・悩んで辛くなることもあるが、子どもたちのために自分ができることをしようと先輩に相談したり上司に相談したりして、保育の向上に努めた。 ・保育後に話し合っ振り返りを行っている。
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.3	3.1	3.1	・耳を傾けてくれる先生方がいて、いつも親身になってくれるのでとても心強く有難い。 ・わからないことはそのままにせず、上司や先輩にその都度相談させてもらった。
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	3.0	2.8	2.8	・休みの日にリフレッシュとして趣味やボランティア活動ができた。 ・関心はあるが以前より時間を作るのが難しい。
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	2.8	3.0	2.9	・ICT機器の使い方を日々学び、より活用できるよう努めている。 ・パソコンの扱いにも少しずつ慣れてきた。

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言>
充実・改善したいこと、厳選・削除したいことなど御意見をお聞かせください。

○特に提言はありません。先生方の明るく元気な姿、一生懸命さが伝わってきます。有難うございます。

○大変なお仕事に敬服しています。幼児、小中学生などとあいさつ運動で接して色々教えてもらうことがある。提言にはならないが、幼児が芽をもって育てほしいと願う。先生方も健康第一に頑張ってください。

○評価結果から判断すると、方針もよく、職員の使命感も高く、順調に教育活動が進んでいることに敬意を表す。数値的には、5と7に課題があることは明確で、どう対応しているかが問われると思う。

○運動会、発表会、卒園式と見学させていただいたが、どれもこどもたちの「一生懸命」が伝わり、胸が熱くなった。更に、先生方も全力で力を注いで感動している様子が伝わってきた。以前より、園児の数が減っているようだが、素晴らしい園の様子を知ってもらうためにも、未就園児への開放、育児相談の窓口を広げるなどの外へのアプローチがさらに増えるとよいと思う。

○お世話になりました。充実した取り組みを内外へ広く発信することで、入園希望者はもちろん、職員希望者も増える仕組みを構築できたら素晴らしい。

○入園時はコロナ禍で様々な制限がありましたが、その中で園児が楽しく過ごせるように配慮いただき、こどもたちはとても楽しい園生活が送れたと思う。3年間、有難うございました。